

兵庫県立夢前高等学校CAN-DOリスト

令和3年3月改訂

	聞くこと(L)	話すこと(S)		読むこと(R)	書くこと(W)	
		やりとり	発表			
1	・簡単なあいさつの言葉を聞き取ることができる。 ・ゆっくり(または繰り返し)話されれば、"Stand Up""Sit Down"という短い指示を理解することができる。	・教室で使われる"Stand Up""Sit Down"などの簡単な表現ができる。	・日常生活の身近な単語をアクセント等に注意しながら、正確に発音することができる。	・ブロック体で書かれたアルファベットを正しく認識することができる。 ・日常生活の身近な単語の意味を理解することができる。	・アルファベットの大文字、小文字をブロック体で書くことができる。 ・日常生活の身近な単語や数字(1~10)を正確に書くことができる。 ・簡単な短い文章を正確に写すことができる。	全商英検4級(中学校の復習)
2	・日常生活の身近な単語を聞いて、意味を理解することができる。 ・ゆっくり話されたら、数字・曜日・季節などの情報を理解できる。	・日常生活の簡単なあいさつや数字・季節・天気などを伝えることができる。	・簡単な自己紹介(氏名・学校)などができる。	・絵や写真のあるファーストフード店のメニューを理解することができる。 ・簡単な地図を見て、○Ostation, ×hospitalなどを探すことができる。	・曜日や月名、数字(2桁)などを正確に書くことができる。 ・不規則変化の動詞の活用を正しく書くことができる。 ・自己紹介カードに氏名・学年・性別・年齢などを書くことができる。	
3	・ゆっくり話されたらALTの簡単な自己紹介を理解することができる。 ・ゆっくり話されたらALTの簡単な指示を聞いて、理解できる。	・簡単な質問に対して、Yes/Noを使って答えることができる。	・簡単な語句を使って、自分の感情や感謝の気持ちを表すことができる。	・日常生活の身近な単語で書かれた短い英文を理解することができる。 ・公共施設にある簡単な表示・掲示を理解することができる。	・be動詞を使った疑問文・否定文を書くことができる。 ・一般動詞を使った疑問文・否定文を書くことができる。	
4	・ゆっくり話されたら、自分の趣味や住んでいる場所などに関する質問を理解することができる。 ・ゆっくり話されたら、人物や物の位置を聞いて理解することができる。	・相手の言っていることが分からないときに、繰り返しで分かりやすく話してもらうように頼むことができる。	・日常生活の行動について既習の単語を使って話すことができる。	・すでに習った単語で書かれた短い英文の内容を理解することができる。 ・教科書で学習した英文を、発音やリズム、イントネーションに注意しながら、音読することができる。	・短い文であれば英語の語順で書くことができる。 ・数字(3桁以上)を正確に書くことができる。	
5	・ゆっくり話されたらALTの簡単な説明を理解し、それに沿って活動ができる。 ・会話表現でよく使われる表現であれば、ネイティブの発音を聞き取り、その意味を理解することができる。	・自然な対話の中で、簡単な相槌を打つことができる。	・自分の予定を既習の単語を使って話すことができる。	・100~150語程度の英文を読み、その内容に一致するものを選ぶことができる。	・簡単なカードやはがきを書くことができる。 ・簡単な自己紹介の文章を書くことができる。(1文から3文程度)	全商英検3級・STEP英検3級
6	・駅や空港で、簡単なアナウンスを聞いて理解することができる。	・ペアワークで質問をしながら、相手の情報を聞き出すことができる。	・相手から得た情報を、メモがあれば、他の人へ伝えることができる。	・簡単なメールやメッセージの内容を理解することができる。 ・既習の単語を使って書かれた道案内の英文を読み、通りや店、病院等を探すことができる。	・既習の単語や表現を使って相手に質問や依頼をする簡単な文章を書くことができる。 ・短い伝言を書くことができる。	
7	・ゆっくり話されたら日常生活の身近な話題に関する簡単な会話を聞いて、理解することができる。	・既習の表現を使って、身近なこと、相手の好みを聞いたり、簡単な頼みごとができる。	・既習の表現を使って、リズムやイントネーションに注意して話すことができる。	・日常生活の身近な話題についての文章を理解することができる。 ・短くて簡単な物語を、単語や熟語の意味を調べながら読み、理解することができる。	・日常生活での出来事や学校生活の感想を簡単な単語を使って書くことができる。	
8	・ALTによるインタビューテストで簡単な質問の内容を60%程度理解することができる。 ・既習の表現であれば、ネイティブ特有の発音をさされても、その意味を理解することができる。	・既習の表現を使って、身近なこと、相手の好みを誘うことができる。	・物事の「好き」「嫌い」とその理由を既習の単語を使って簡単に話すことができる。	・興味・関心のある話題に関する簡単な英文を、単語や熟語の意味を調べながら読み、理解することができる。	・自分の趣味について、その理由も含んだ文章を書くことができる。	
9	・ゆっくり話されたら、興味・関心のある話題に関する話を理解することができる。	・自分の身近なことに関する質問を理解し、答えることができる。	・イラストや写真の内容を簡単な表現を使って、話することができる。(60%程度)	・日本語の注や説明がついた簡単な読み物を理解することができる。(70%程度)	・既習の表現を使って、辞書を使って単語の意味を調べながら、オリジナルの文章を作ることができる。(1~3文程度)	
10	・既習の表現を聞きながら、地図を見て目的地までの道順を理解することができる。	・簡単な表現を用いて、待ち合わせなどの約束をすることができる。	・質問された内容を理解し、文章や絵から状況を読み取り答えることができる。(60%程度)	・既習の英文であれば、与えられた語句を参考にし、要点をまとめることができる。 ・すでに習った英文を感情を込めて聞き手に伝わるように音読することができる。	・辞書を使えば、簡単に短い日記を書くことができる。(1文から3文程度)	
11	・字幕を見れば、映画のせりふで使われている単語を聞き取ることができる。 ・ALTによるインタビューテストで教科書の内容についての質問を60%程度理解することができる。	・よく知っている場所であれば、地図や道案内を見ながら、道順を教えることができる。	・身近な話題について、準備をした上で、簡単なスピーチをすることができる。(2~3文程度)	・簡単な英語で書かれた比較的長めの英文をイラストなどの補助を用いて理解することができる。	・イラスト、写真の内容を、簡単な表現を使ってその状況を描写する英文を書くことができる。	
12	・ゆっくり(または繰り返し)話されたら、ALTの出身の国の行事や習慣等の文化についての説明を理解できる。	・ファーストフード・レストランでメニューを見ながら注文することができる。	・イラストや写真の内容を簡単な表現を使って、話することができる。(70%程度)	・簡単な図や表から、必要な情報を得ることができる。 ・時刻表を見て、目的地や到着時刻などの情報を得ることができる。	・物事の「好き」「嫌い」とその理由を既習の単語を使って書くことができる。	
13	・授業で聞く天気予報や空港のアナウンスを、何度が聞けば60%程度理解することができる。	・ゆっくり(もしくは、繰り返し)話されれば、自分のスピーチに対して、ALTからの質問に答えることができる。	・自分が経験したことや学んだことを、簡単な表現を用いて述べるることができる。	・簡単な英語で書かれたチラシやポスターの情報を70%程度理解することができる。 ・簡単な英語で書かれた身近な話題に関する調査・グラフ・結果などを70%程度理解することができる。	・日常生活での出来事や学校生活の感想を簡単な表現を使って文章で書くことができる。	
14	・ALTによるインタビューテストで日常生活や身近な話題に関する質問の内容を60%程度理解することができる。	・身近な話題について、友人のプレゼンテーションを聞いて、その内容について質問ができる。	・短い読み物や記事を読んで、メモがあれば概要を説明することができる。	・比較的長めのメールの文章を読んで、流れを理解しながら内容を聞き取ることができる。(70%程度) ・英語で書かれた日本の漫画や昔話等を読み、登場人物の動きや感情を理解することができる。(70%程度)	・日時や場所を知らせる簡単なお知らせを書くことができる。	
15	・すでに学習した少し長い英文を聞いて、その内容を理解することができる。	・会話でよく使われる表現を用いて、ALTと自然の流れで身近な話題について会話をすることができる。	・既習の表現を使って、少し長めの文章をアクセントやイントネーションに注意して話すことができる。	・200語程度の英文を読み、前後の文脈を意識して、空欄補充の問題を解くことができる。	・既習の表現を使って、短い手紙やメールを書くことができる。	
16	・授業の中で先生やALTの説明や指示を聞いて理解し、それに沿って活動することができる。	・空港や機内での表現や決まり文句を使って、自然なやりとりができる。	・イラストや写真の内容を簡単な表現を使って、話することができる。(80%程度)	・外国の生活や文化を紹介するような簡単な説明文を理解することができる。 ・まとまりのある論説文などを、ディスコースマーカに注意しながら読み、その内容を60%程度理解できる。 ・まとまりのある論説文などを、パラグラフ構成に注意し、主題文と指示文を区別しながら読み、その内容を60%程度理解することができる。	・時系列や時制を正しく理解し、それを意識して文章を書くことができる。	
17	・日常生活の身近な話題に関する簡単な話を聞いて、その内容を理解することができる。 ・ALTによるインタビューテストで教科書の内容についての質問を70%程度理解することができる。	・電話でよく使われる表現や決まり文句を使って応答することができる。	・イラストを見て、状況を判断し、but, so, becauseなどの表現を用いて説明することができる。(70%程度)	・教科書で学習した話題について、インターネット、雑誌、新聞から必要な情報を取り出すことができる。	・教科書で学んだ内容に関して、簡単な単語を使って感想や意見を書くことができる。(2~3文程度)	
18	・日本語の字幕を参考にすれば、映画のせりふで使われているフレーズを60%程度聞き取ることができる。 ・日本の駅や空港で、簡単な英語のアナウンスを聞いて、内容を理解することができる。	・買い物でよく使われる表現や決まり文句を使って、自分の希望を伝え、欲しいものを買うことができる。	・教科書で学習した話題について、キーワードを頼りに、準備をした上で、内容を大まかに説明することができる。	・プレゼンテーションのため、インターネット、雑誌、新聞から必要な情報を取り出すことができる。	・既習の表現を使って、辞書を使って単語の意味を調べながら、オリジナルの文章を作ることができる。(2~3文程度)	
19	・教科書で学習した少し長めの英文を聞いて、内容を理解することができる。 ・日本語の字幕を参考にすれば、映画のせりふで使われているフレーズを60%程度聞き取ることができる。	・日常生活の身近な状況(遅刻・体調不良など)を簡単な表現を使って、相手に説明することができる。	・興味・関心のあることについて、自分の考えを述べ、その理由を2文程度挙げることができる。	・辞書を使えば、比較的簡単な料理のレシピなどの実用的な文章を80%程度理解することができる。 ・250語程度の英文を読み、その内容に合う英文を選択肢から選ぶことができる。(70%程度)	・自分のお気に入りのもの、身近なものを紹介する簡単な文章を書くことができる。 ・既習の表現を使って、簡単な予定を文章でカレンダー等に書くことができる。	
20	・ゆっくり話されれば、興味・関心のある話題に関する話を理解することができる。 ・ALTによるインタビューテストで教科書の内容についての質問を80%程度理解することができる。	・授業で扱ったテーマについて、準備をした上で、友人と意見交換ができる。	・授業で扱ったテーマに沿って、オリジナルの視点(3文程度)を加えて、簡単なプレゼンテーションをすることができる。	・英語で書かれた日本の昔話等を読み、登場人物の動きや感情を理解し、キーワードを使って要点をまとめることができる。 ・まとまりのある論説文などを、ディスコースマーカに注意しながら読み、その内容を70%程度理解できる。	・簡単な単語や文法を使って、自分の学校を紹介する文章を書くことができる。(3~5文程度) ・既習の表現を使って、自分の住んでいる地域を紹介する簡単な文章を書くことができる。(3~5文程度)	
21	・ALTによるインタビューテストで日常生活や身近な話題に関する質問の内容を70%程度理解することができる。	・友人のスピーチやプレゼンテーションを聞いて、その内容について簡単に質問することができる。	・既習の表現を使って、自分の読んだ本や見た映画の感想をその理由も入れて、2文程度述べるすることができる。	・簡単なチラシやパンフレットの内容を理解し、必要な情報を取り出すことができる。(80%程度) ・簡単な英語で書かれた身近な話題に関する調査・グラフ・結果などを理解することができる。(80%程度)	・印象に残った出来事(学校行事など)について、その内容を伝える文章を書くことができる。(3~5文程度) ・教科書で学習した話題を既習の語句を使って、要点を絞ってまとめた文(50語程度)で書くことができる。	
22	・日本語の字幕を参考にすれば、映画のせりふで使われているフレーズを70%程度聞き取ることができる。 ・ALTによるインタビューテストで教科書の内容についての質問を80%程度理解することができる。	・ゆっくり(もしくは繰り返し)話されれば、自分のプレゼンテーションに対してALTからの質問に答えることができる。	・イラストを見て、状況を判断し、but, so, becauseなどの表現を用いて説明することができる。(80%程度)	・高校生向け(日本語の注や説明などがある)の易しい英字新聞で、辞書など補助教材を使えば70%程度理解することができる。	・自分が読んだ本や見た映画の感想を書くことができる。 ・既習の表現を使って、自分の将来の夢や希望について書くことができる。(5文程度)	
23	・ゆっくり話されて、写真やイラストの補助教材があれば、自分の知っている外国の行事や習慣についての説明を理解することができる。	・身近な社会問題について、自分の意見を簡単に述べることができる。	・順番に並んでいる3枚程度のイラストを見て、適切な接続詞でつなぎ、時間や場所などの説明を加えながら説明することができる。(80%程度)	・300語程度のまとまった英文を読み、その内容についてまとめた要約文を選択肢から選んで完成させることができる。(70%程度)	・教科書で学習した話題について、自分なりの考えや意見を加えて、読み手が理解できる文章を書くことができる。	
24	・繰り返し話されれば、自然なスピードで話されても身近な話題についての日常会話を理解することができる。	・ALTと身近な話題について、十分に対話を続けることができる。	・既習の表現を使って、自分の将来の夢や希望についてその理由も含めて、話すことができる。	・比較的長めのメールの文章を読んで、流れを理解しながら80%程度内容を聞き取ることができる。 ・まとまりのある論説文などを、ディスコースマーカに注意しながら読み、その内容を80%程度理解できる。	・文と文を and, but, becauseなどでつないだり、時間、場所や理由などを追加しながら、正確な情報を伝える文を書くことができる。	

全商英検2級・STEP英検2級

全商英検1級・STEP英検2級

